

「まぼろしのお酒　　栄森酒店　」

ギターと歌声

客が道を歩いてくる　ガラス越しに店内を見て　入る

お客　　…

店主　（ギターを弾き続ける）

店主が客に気づいて

店主　わあ

客　　わあ

店主　あ　すいません　もうこの時間だからすっかり　すみません

客　　いえ　ギター　お上手ですね

店主　いやいや暇なんで　どうぞゆっくり

客　　あの　それ

店主　え

客　　その後ろの　ただけませんか　「養老」ってやつ

店主　ああ　あー…

客　　…高いですか…

店主　いえ　これ売ってないんですよ

客　　そうなんですか…

店主　地酒がいいですか？　そしたら

客　　あーでも　「村祐」は　うちは扱ってないんで

店主　飲んだことがあります

客　　じゃあ「花越路」かな　これ甘めで

店主　飲んだことがあります

客　　酒好きで　出張に行つては買って帰るんです

店主　瓶も全部取つてあるんです　（携帯を見せる）

客　　うちよりある…

店主　瓶も　ラベルも　全部で　お酒です

でもそれは 見たことない気がして

店主 あー

客 ……

二人 ……

店主 瓶だけなんです

客 え

店主 うちの祖父 私の爺さんと曾祖父が作ろうとしたお酒なんですけど

許可が降りなかったやつで 中身ないんですよ

客 そんなことあるんですか

店主 あっちの方に 酒蔵まで建ててたんですけどね

その頃は 国がお酒とかお米とか管理してて

何かと 厳しかったみたいで

客 そうなんですな (お店) 歴史ありますもんね

え これ 申請書ですか お酒作る

すごい 初めて見ました

店主 偽物です

客 え

店主 あ いえ レプリカです

明らか親父の字なんで

昭和〇年に出してますからね 親父まだ生まれてないんで

爺さんの書いたやつを 親父が後から真似して書いたんでしょうね

客 ああ

店主 そこまでしなくてもね 見栄っぱりだから

客 ねえ

店主 パウチは私です

客 ……あれですか 何代目とか

店主 の代目

客 えー すごい

店主 (申請書) これがじいちゃん で こっちがひいじいちゃん

客 えー すごい

店主 の代目なんてまだまだ の代目ね

奥にはお酒を保管しておく 穴倉もあって

これ(瓶)も 一つ一つ手書きなんですよ

客 ほら 微妙に違うでしょ
ほんとだ

店主 味があつていいでしょ

客 この ーこがいいですよね このちよつと払つてある
でしょー このね 色味も少しだけ濃いんですよ
焼き物だから 一点ものだから

二人で盛り上がる

我に返つて

店主 一回 火事で焼けて 建て直したんですよ

客 本物は その時焼けちゃったのか 無くしたのか

：

店主 でも売れなかったと思いますよ 「養老」なんて名前じゃ

客 チェーン店ですもんね

店主 そうじゃないよ

客 え

店主 神話ですよ まぼろしのお酒

息子が 年老いた親父の世話してて

神様が 滝の水をお酒にして 持ち帰らせてあげたっていう

親孝行な息子の話で

売れないですよ 俺には

：

客 私で最後 かもしれないんで この店

人も店もだんだん無くなつてね 時代です

：

客 でも僕 あの この通り 好きです

向こうからずっと歩いてきまして きれいでした

ここ突き当たりで あー終わっちゃうんだーって

でも ーここに サカエモリさんにこれて 良かったです

店主 エイモリです

客 ーすみません

は 「花越路」を頂こうかな

本当は 瓶だけでも売ってもらえないかなって 思ってたけど
やめときます

店主 じゃあ なんかもサービスしましょうか

何がいいですか おつまみとか

客 ギター

店主 え

客 さっきの ギターがいいです

あれなんでしたっけ

聞いたことあるんですけど さっきから気になって

店主 嫌ですよ

客 何がいいですか って今

店主 嫌ですよ

店じまいを始める店主

押し問答をしながら

音楽が流れてくる

Would you know my name

If I saw you in heaven?

Would it be the same

If I saw you in heaven?

I must be strong

And carry on

'Cause I know I don't belong

Here in heaven

もし天国で君に会えたら

僕の名前を覚えていてくれてるかな

もし天国で君に会えたら

変わらずにいるのかな

僕は強くなって生き続けなきゃ

だって僕はここに居るべきじゃ無いって知ってるから

Would you hold my hand
If I saw you in heaven?
Would you help me stand
If I saw you in heaven?
I'll find my way
Through night and day
'Cause I know I just can't stay
Here in heaven

もし天国で君に会えたら
僕の手を握ってくれるかな
もし天国で君に会えたら
僕が立つていられるように支えてくれるかな
僕はこれから自分の進む道を探していくよ
だって僕はまだ天国には居られないって知ってるから

Time can bring you down
Time can bend your knees
Time can break your heart
Have you begging please
Begging please

時間が経てば君は落ち込み
立てなくもなるし、心は打ち碎かれる
そして神に願いを請うしかないんだ だから神様、どうか

Beyond the door
There's peace, I'm sure
And I know there'll be no more
Tears in heaven

扉の向うにはきっと平穏が待ってる
そして僕にはわかる
もうここでは涙を流さなくてもいいって

Would you know my name
If I saw you in heaven?
Would it be the same
If I saw you in heaven?
I must be strong
And carry on
'Cause I know I don't belong
Here in heaven
'Cause I know I don't belong
Here in heaven

もし天国で君に会えたら
僕の名前を覚えていてくれてるかな
もし天国で君に会えたら
変わらずにいるのかな
僕は強くなって生き続けなきゃ
だって僕は今ここに居るべきじゃ無いって知ってるから
だって僕はまたいつか会えるって知ってるから

おわり

「雪の日のスープレアミチエ」

扉を開ける音

キッチンから店主が出てくる

店主
いらつしやいま…あれ

扉を開けて外を見る

その後ろに少女が二人

少女たち
はじめのいっぽ

店主
え？

少女2
うしろむいちゃダメ

少女1
だめ

店主
ええ？

少女たち
はじめのいっぽ

店主
え？

だ だるまさんがころんだ

だるまさんがころんだ を始める三人

少女たち
タッチ！

店主
ストーップ！

え えっと…いらつしやいませ

少女1
ちがうよー

少女2
だるまさんがころんだ しらないのー？

店主
ごごめんね

えっと…お母さんと来たの？

少女たち
ううん

店主
じゃあ お父さんかな

少女たち
ううん

店主 二人で来たの？ 雪の中？

少女2 きたの じゃないのよ いたのよ

店主 そっか ごめんね

もう一度 外を確認して 閉める

店主 えっと こういう時って警察なのかな 迷子って警察だよ

少女1 けいさつ っておいしい？

店主 ……お腹 減ってるの？

少女1 ふん（お腹をグーっと鳴らす）

少女2 ふん（お腹をグーっと鳴らす）

少女たち きやつきやと騒ぐ

店主 スープ食べる？

少女1 スープ！

少女2 ばか おきゃくさんのでしょ

店主 いいよ

今日は雪がすごいでしょ

少女1 まっしろ

少女2 まっしろ

店主 だから お客さんはみんな お家にいるみたい

ここどころ こんな日ばかりだけどね

少女1 あしあとつけるの たのしいのにな

店主 え？

まっしろなゆきに あしあとつけるの

少女1 ああ そうね

店主 こどもの頃は 楽しかったなあ

少女1 いつも けんかするんだよ

少女2 はじめのいっぽ で どちらがさきにつけるか

少女1 あんたが トロイからでしょ

少女1 いつも ずるっこするんだよ

店主 ふたりは何歳？

少女たち
100さい

店主
えーすごいねー

少女2
しんじてない

少女1
しんじてないね 100さいだとおもって ばかにしてる

スープを温めに キッチンに

少女1
100年たった いえは あたしたちも いっしょにくらすルール

なの

少女2
ルールなのに せんせい しらないの？

店主
先生知らないなあ

戻ってくる

店主
うわ なんか久々に 先生って呼ばれちゃった

あたしね 先生してたの

しってるよ

知ってるのー？

少女1
おきやくさんにはなしてたもん

少女2
とくべつしえんがっこう ってしらないけど

少女1
おおきくなった せいと がはたらきにきても

あたしたちとあそんでよね

ほったらかしたら しょうちしないから

なんで知ってるの？

少女2
いつもはなしてるじゃん

おおきくなった がっこうの せいとたちと

ここではたらくって

店主
そうなの 夢なの

だから頑張らなきゃなんだ

：…お母さん よく来るの？

あたし 人覚えるの得意なんだけどな

少女2
だから100年たつと あたしたちとくらすんだってば

ふたりと あたしで？

店主

少女1 みんなで

みんなにいいこと おまねきするの
あたしたちの しごとなの

店主 いいこと

少女1 おしごと いいこと

少女2 いいこと おまねき

店主 座敷童子

少女2 なにそれ

店主 そっか 座敷童子 っぼい

双子の座敷童子って珍しいけど でも幸せも二倍じゃない？
なまえ ちがう

少女1 ダサい

店主 古い家には 居てくれるんだよね

ふふふ

少女たち あー

少女1 わらった

少女2 わらった

店主 え

少女2 きょういちにち こんなかおしてた

少女1 こんな

店主 そう？

今日は 転んでばかりだったから

冬はなー

少女1 ふゆきらい？

店主 寒いからね

少女1 さむいからよ

ふゆ さむいから スープおいしいんだよ
うん

少女2 ちがうわよ てづりだから おいしいのよ

少女1 ちがうもん みんなでたべるから おいしいんだよね

少女2 ばかね きもちをこめると おいしくなるの

少女1 しってるもん でもニヨニヨするから おいしいんだもん

押し問答をする二人

少女2 ……ないてる！

少女1 なかした！

店主 あ あれ？わあ びっくり

少女2 アミちゃんが泣かしたんだよ

少女1 ち ちがうよ チエちゃんが なかしたんでしょ

少女2 ないたら しよっぱくなっちゃうよ

店主 ごめん ごめん

なんでもない

今日さ 雪でさ 静かで あたしひとりぼっちみたいで

でも 一人じゃなかったんだね

スープあるよ

少女1 スープたべたら げんきでるんだよ

店主 あはは じゃあ あたしも スープ たべようかな

少女2 あったまるまで あそぼう

少女1 あそんだら たのしいよ

店主 よーし 何する？

少女1 はじめの いっぱ

少女2 ばかね だるまさんがころんだ でしょ

少女1 はじめの いっぱだよ

手を繋いで 一列に並ぶ

三人 はじめの いっぱ

三人 ……

少女2 さんにんじゃ いみないじゃん

音楽

スープの香りが 漂ってくる

おわり